



今月のトピックス

神守図書室移転のお知らせ

これまで神守公民館内にあった図書室が、4月1日より、津島市生涯学習センター2階へ移転いたします。

所在地 津島市莪原町字棕木5
津島市生涯学習センター（旧：アイプラザ津島）2階
電話 25-8913（電話番号は変わりません）
休室日 市立図書館の休館日（毎月第4火曜日・特別整理期間・年末年始）
及び生涯学習センターの休館日（毎週月曜日：ただし祝日は開館）

なお、移転にともない神守公民館内の図書室は3月19日（土）をもって閉室となります。

地域の歴史に親しむ講座

「津田正生と尾張地名考」

*事前申込不要・無料

日時：3月19日（土）午後2時～

場所：津島市立図書館 2階大集会室

講師：石田泰弘氏（愛西市教育委員会）

江戸後期の文人として名高い津田正生は、尾張国内を踏査し、地名とその由来を『尾張地名考』にまとめました。この津田正生と『尾張地名考』について紹介しながら、地域の特性について考えます。

企画展示

「昔の津島絵葉書展

～観光地編～」

場所：津島市立図書館 1階展示コーナー

明治33年（1900）年に絵葉書が登場してから今年で116年。ここ津島でも風景写真をはじめ、学校・料亭などバラエティに富んだ絵葉書が数多く発行されました。

今回、図書館が所蔵する昔の津島絵葉書の中から、津島神社や天王川公園など観光地を紹介した絵葉書を展示します。

旅立ちの季節

多くの学校で卒業式が行われる3月。そこで、今回は“卒業”に関する本をご紹介します。

『卒アル写真で将来はわかる』 マシュー ハーテンステイン/著 文藝春秋 141.9 八

『卒業式の歴史学』 有本真紀/著 講談社 374.4 ア

『少女は卒業しない』 朝井リョウ/著 集英社 913.6 ア

『最後の卒業生 夕張に生きる中学三年生たち』 本田有明/著 河出書房新社 913.6 ホ



新 着 図 書

『タヌキ学入門 かちかち山から3. 11まで身近な野生動物の意外な素顔』

高槻成紀／著 誠文堂新光社 489.5/タ



皆さんはタヌキときいて何を想像しますか？ポンポコとお腹をたたく愛らしい姿でしょうか。それとも化けて人をだます、ずる賢い姿でしょうか。いずれにせよ私たちにとって馴染み深い存在のタヌキですが、その詳しい生態など、案外知らないことも多くあります。

そんなタヌキに焦点を当てたのが本書。生息地や食性などの生態や、昔話などからみるタヌキのイメージ考、東日本大震災後に仙台湾に戻ってきたタヌキの調査の様子などが紹介されています。タヌキに関する様々な情報がわかる一冊です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『決戦の島』犬飼六岐/著 ← 四藩による対抗戦に剣の腕を貸すことになった吉岡清三郎。対戦の相手は…
- 『「ない仕事」の作り方』みうらじゅん/著 ← 「ゆるキャラ」の名付け親として知られる著者の仕事術とは。
- 『キッチン戦争』樋口直哉/著 ← フレンチレストランで働く滝沢葉月は料理コンクールに出場することに。
- 『くらべてわかる世界の美しい美術と建築』五十嵐太郎/編著 ← 建築史家の著者が美術と建築を解説する。
- 『魔女の封印』大沢在昌/著 ← シリーズ第三弾。特殊能力を持つ主人公、水原はある男の身边を調査する。
- 『スーツケースの半分は』近藤史恵/著 ← 青いスーツケースを衝動買いした真美は、一人旅を決意する。
- 『作家と一日』吉田修一/著 ← 『悪人』、『怒り』などの作品で知られる人気作家、吉田修一初のエッセイ集。
- 『美しい花言葉・花図鑑』二宮孝嗣/著 ← 季節の美しい花の写真とともに花言葉や花の名前の意味を紹介。
- 『きらきら眼鏡』森沢明夫/著 ← 愛猫を亡くし、悲しみにくれる主人公は古書店で自己啓発本を購入する。
- 『光のない海』白石一文/著 ← 建築会社の社長を務める高梨修一郎。50歳を過ぎた彼の心に浮かぶのは…

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

22日（火）（毎月第4火曜日）

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話（0567）25-2145

